

【獣被害対策のための電気柵設置のポイント】

電気柵は、危険防止のために、適切な管理をして安全に使用しましょう。

☆適切な管理とは

- ① 注意表示板の掲示をしましょう。
- ② 電気柵用の電源装置を使用します。家庭用コンセントから、直接電気柵につながないでください。

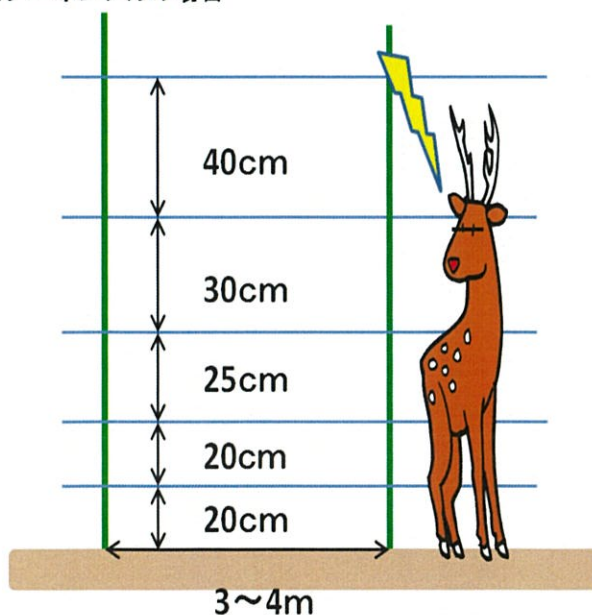
☆電気柵使用・管理のポイント

- ① 雑草が柵線に触れると漏電の原因となるので、除草をします。
- ② 電圧は4000ボルト以上を維持します。漏電箇所や断線の点検等を行います。
- ③ 電気柵と作物は近接しないよう、十分な距離をとります。

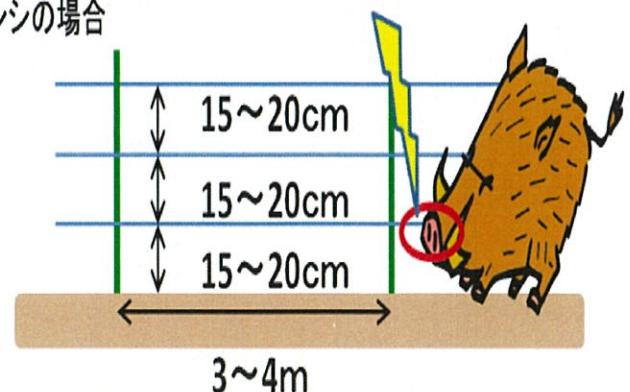
☆電気柵設置のポイント

- ① アスファルトは電気を通さないため、舗装道路から50cm以上離して設置します。
 - ② アースは地中深くに埋め本器にしっかり接続します。
 - ③ 動物がより柵線に触れやすくするため、ガイシ・クリップは外側に向けます。
 - ④ イノシシやシカは、柵線の下をくぐろうとするので、最下段はイノシシの鼻の高さに合わせ、地上20cmに来るようにします。設置時に支柱に目印を書いておくと、管理時に便利です。
- また、高さを維持するため、地面をならしておくとい良いでしょう。

○カモシカ・ニホンジカの場合



○イノシシの場合



※2段の設置でも侵入防止効果はありますが、3段の設置の方がより効果が高くなります。